



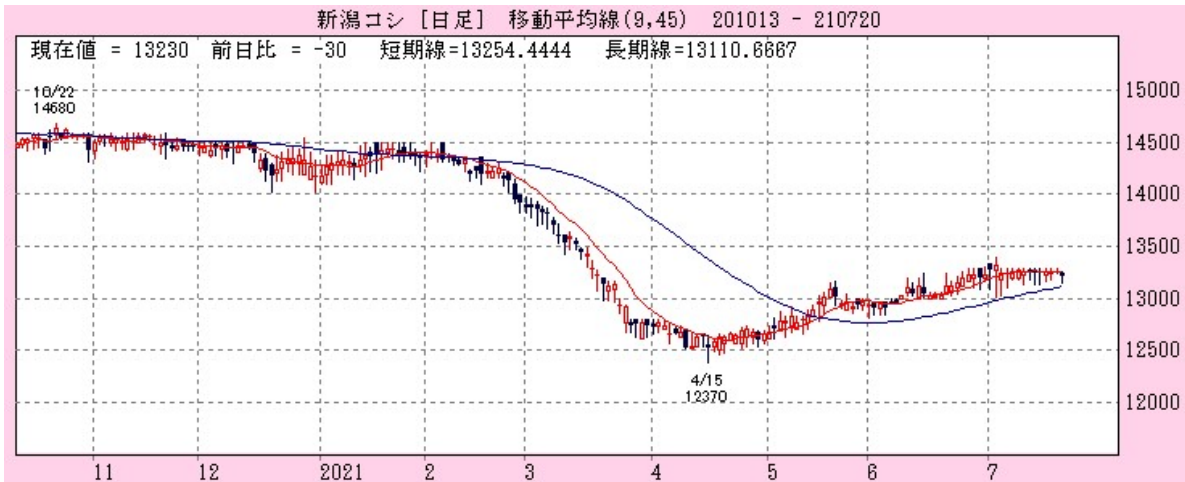
月2回のお米



コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日 夕方発行

新潟コシヒカリの価格

発行日 : 2021/7/20



TOPIC s USDA 需給報告 21年7月号

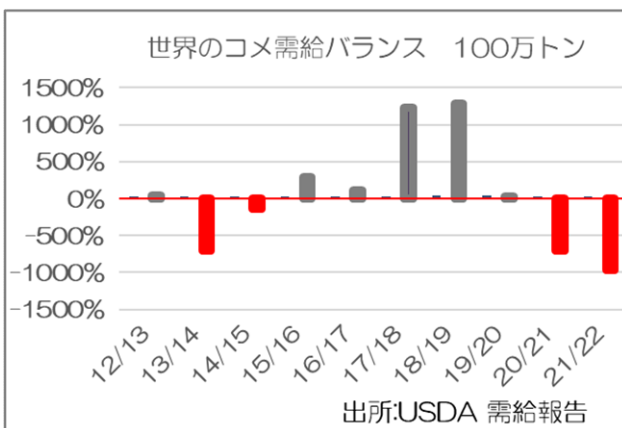
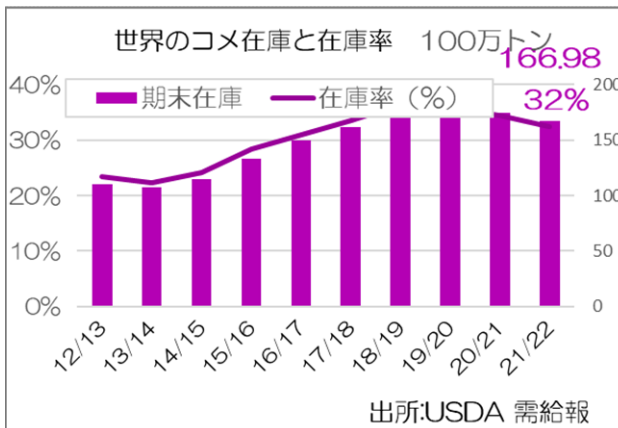
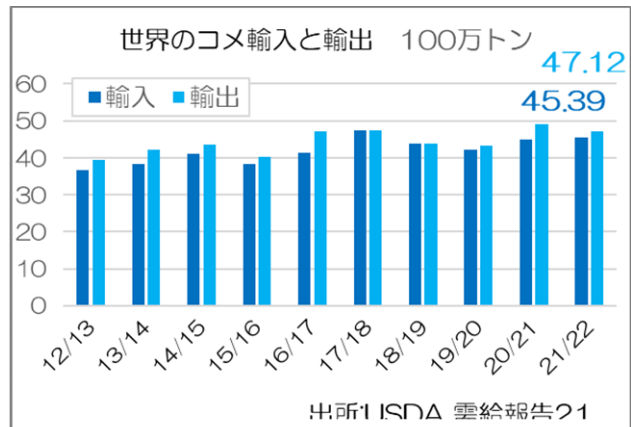
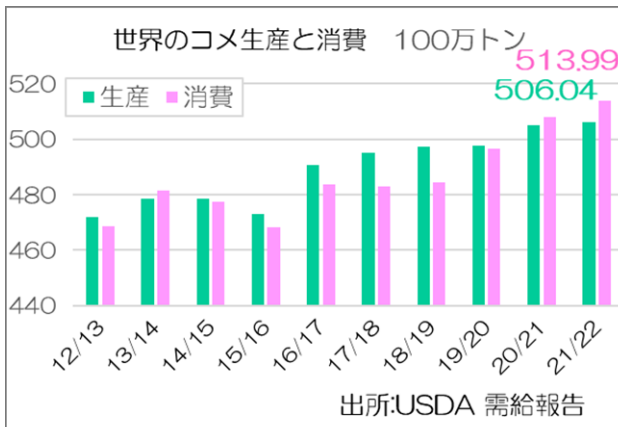
20/21年度旧穀の世界のコメの生産量は、5億494万トン、世界のコメ輸入量は4,499万トン、消費量は5億786万トンで、輸出量は4,712万トン、期末在庫は1億7,492万トン、期末在庫率は34%であった。前年末より期末事故は296万トン減少し、期末在庫率は▲1.4%低下している。

21/22年度の新穀の予想は、世界のコメの生産量は5億604万トンと前年より+110万トン増加するとし、輸入量は4,539万トンと前年度より+40万トン増加する見込みで、消費量は前年比+613万トン増の5億1,399万トン、輸出量は▲194万トン減の4,712万トンと見込まれ、需給バランスは前年の▲700万トンの供給不足から▲970万トンの供給不足に拡大すると見ている。期末在庫は1億6,698万トンで、前年より▲794万トン減少し、2年連続の減少となる見込み。期末在庫率32%となる。

要するにコメの需給は消費量の伸びの方が生産量の伸びの6倍弱となっているため需給はタイトである

百万トン	期初在庫	生産	輸入	消費	輸出	期末在庫	在庫率 (%)	在庫前年比	在庫率 (%)	需給バランス
12/13	106.83	472	36.54	468.68	39.4	110.15	24%			+0.5
13/14	110.56	478.42	38.4	481.61	42.23	107.37	22%	▲2.78	▲1.2%	▲7.0
14/15	113.87	478.55	41.11	477.51	43.58	114.91	24%	+7.54	+1.8%	▲1.4
15/16	127.89	472.94	38.33	468.09	40.34	132.74	28%	+17.83	+4.3%	+2.8
16/17	142.37	490.82	41.29	483.77	47.25	149.43	31%	+16.69	+2.5%	+1.1
17/18	149.43	495.07	47.38	482.82	47.33	161.68	33%	+12.25	+2.6%	+12.3
18/19	163.74	497.34	43.97	484.59	43.9	176.49	36%	+14.81	+2.9%	+12.8
19/20	176.59	497.78	42.3	496.49	43.38	177.88	36%	+1.39	▲0.6%	+0.2
20/21	177.84	504.94	44.99	507.86	49.06	174.92	34%	▲2.96	▲1.4%	▲7.0
21/22	174.92	506.04	45.39	513.99	47.12	166.98	32%	▲7.94	▲2.0%	▲9.7
前年比	▲2.92	+1.10	+0.40	+6.13	▲1.94	▲7.94				

世界のコメの需給グラフ



TOPIC s USDA Rice Outlook 21年7月号

世界のコメの生産量

世界のコメの生産量は、19/20年度が4億9,772万トン、20/21年度に初めて5億トンを超え5億253万トンに前年から+7,292万トン増加した。主な生産の増加国はインドの+313万トン、中国の+157万トン、米国の+134万トン、タイの+117万トン、パキスタンの+77万トン、インドネシアの50万トンなどであった。

世界のコメの生産国

世界で最もコメを多く生産しているのは中国で、21/22年度の予想は、1億4830万トン。世界の29.4%を占める。次いで、インドの1億2200万トン、24.2%。中国とインドで世界の約半分のコメを生産している。

3位はインドネシアの3,520万トンと2位のインドとの差は8,680万トンとなる。シェアは7%。

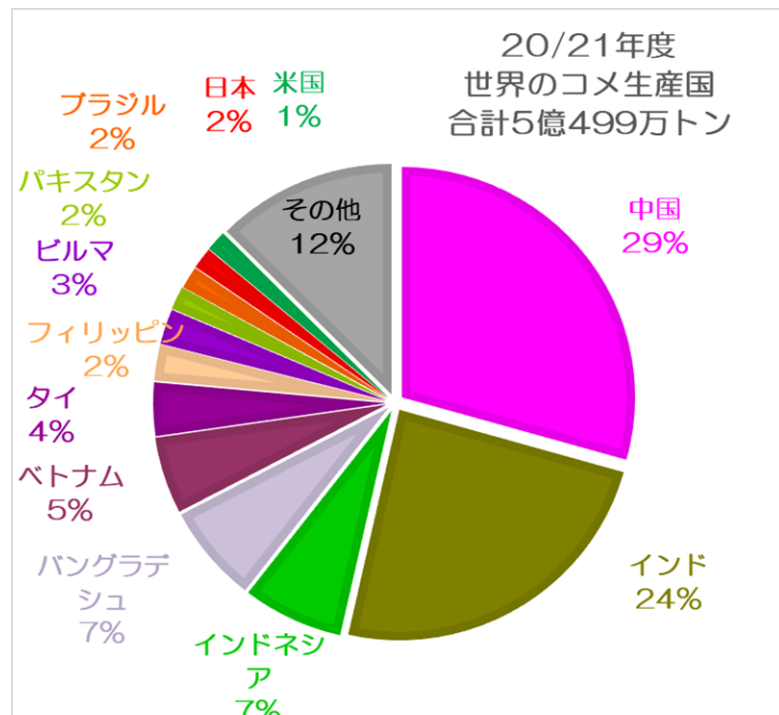
4位はバングラデシュで、3,460万トン、同国は20/21年度に前年度▲125トン減少している。次いでベトナム、対、ビルマ、フィリピン、パキスタン、ブラジルとなる。日本は第11位の756万トンで前年比▲4万4千トンとなっている。

21/22年度の生産予想では、大半の国は20/21年度と変わらずとなっているが、豪州が▲5万トン減の予想となっている。

世界のコメ生産国

千トン		19/20年度	20/21年度	前年比	21/22年度	前年比	21/22年度のシェア
1位	中国	146,730	148,300	+1570	148,300	+0	29.4%
2位	インド	118,870	122,000	+3130	122,000	+0	24.2%
3位	インドネシア	34,700	35,200	+500	35,200	+0	7.0%
4位	バングラデシュ	35,850	34,600	▲1,250	34,600	+0	6.9%
5位	ベトナム	27,100	27,100	+0	27,100	+0	5.4%
6位	タイ	17,655	18,830	+1175	18,830	+0	3.7%
7位	ビルマ	12,650	12,600	▲50	12,600	+0	2.5%
8位	フィリッピン	11,927	12,400	+473	12,400	+0	2.5%
9位	パキスタン	7,414	8,184	+770	8,184	+0	1.6%
10位	ブラジル	7,602	7,899	+297	7,906	+7	1.6%
11位	日本	7,611	7,567	▲44	7,567	+0	1.5%
12位	米国	5,877	7,226	+1349	7,226	+0	1.4%
13位	カンボジア	5,740	5,783	+43	5,783	+0	1.1%
14位	ナイジェリア	5,040	4,890	▲150	4,890	+0	1.0%
15位	エジプト	4,300	4,000	▲300	4,000	+0	0.8%
16位	ネパール	3,696	3,696	+0	3,696	+0	0.7%
17位	韓国	3,744	3,507	▲237	3,507	+0	0.7%
18位	スリランカ	3,207	3,450	+243	3,450	+0	0.7%
19位	マダガスカル	2,708	2,560	▲148	2,560	+0	0.5%
20位	ペルー	2,200	2,250	+50	2,250	+0	0.4%
21位	タンザニア	2,293	2,244	▲49	2,244	+0	0.4%
22位	コロンビア	1,750	2,010	+260	2,010	+0	0.4%
23位	イラン	1,993	2,000	+7	2,000	+0	0.4%
24位	マリ	2,077	1,959	▲118	1,959	+0	0.4%
25位	EU	1,985	1,962	▲23	1,953	▲9	0.4%
26位	ラオス	1,600	1,900	+300	1,900	+0	0.4%
27位	マレーシア	1,825	1,800	▲25	1,800	+0	0.4%
28位	ギニア	1,715	1,518	▲197	1,518	+0	0.3%
29位	北朝鮮	1,360	1,360	+0	1,360	+0	0.3%
30位	エクアドル	930	1,023	+93	1,023	+0	0.2%
31位	コートジボアール	1,225	962	▲263	962	+0	0.2%
32位	シエラレオネ	948	958	+10	958	+0	0.2%
33位	台湾	1,165	900	▲265	900	+0	0.2%
34位	ウルグアイ	846	858	+12	858	+0	0.2%
35位	アルゼンチン	795	806	+11	806	+0	0.2%
36位	セネガル	786	789	+3	789	+0	0.2%
37位	ロシア	715	742	+27	742	+0	0.1%
38位	ガイアナ	683	688	+5	688	+0	0.1%
39位	ドミニカ共和国	602	630	+28	630	+0	0.1%
40位	パラグアイ	790	616	▲174	616	+0	0.1%
41位	トルコ	610	591	▲19	591	+0	0.1%
42位	ガーナ	638	570	▲68	570	+0	0.1%
43位	ポリビア	336	380	+44	380	+0	0.1%
44位	カザフスタン	365	362	▲3	362	+0	0.1%
45位	アフガニスタン	377	343	▲34	343	+0	0.1%
46位	豪州	36	380	+344	330	▲50	0.1%
47位	イラク	347	305	▲42	305	+0	0.1%
48位	ニカラグア	249	272	+23	272	+0	0.1%
49位	キューバ	247	240	▲7	240	+0	0.0%
50位	モザンビーク	222	228	+6	228	+0	0.0%
51位	メキシコ	175	210	+35	210	+0	0.0%
52位	パナマ	231	205	▲26	205	+0	0.0%
53位	スリナム	180	183	+3	183	+0	0.0%
54位	ウズベキスタン	140	150	+10	150	+0	0.0%
55位	ベネズエラ	140	130	▲10	130	+0	0.0%
56位	ウガンダ	143	124	▲19	124	+0	0.0%
57位	コスタリカ	101	93	▲8	93	+0	0.0%
	小計	495,241	502,533	+7292	502,481	▲52	99.5%
	その他	2,501	2,459	▲42	2,459	+0	0.5%
	世界合計	497,742	504,992	+7250	504,940	▲52	100.0%

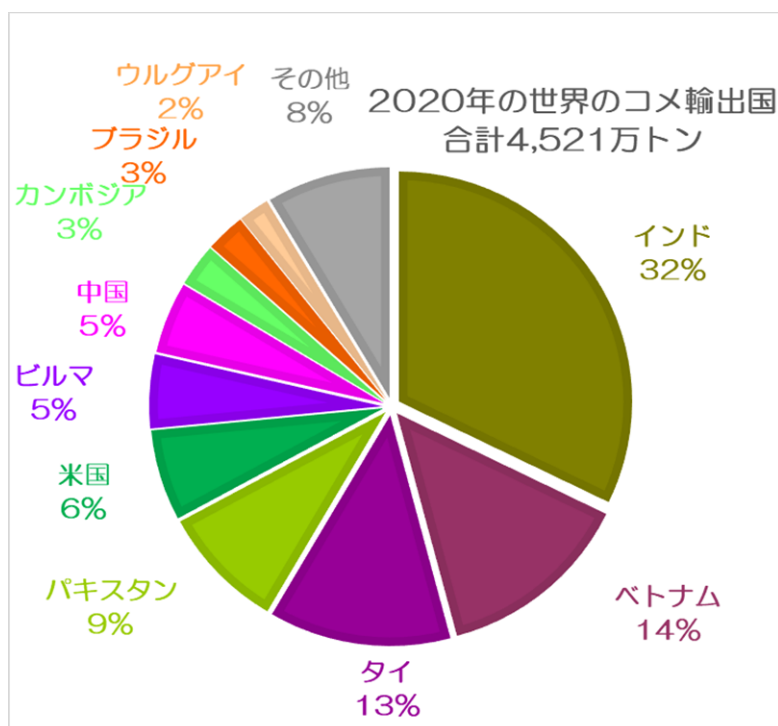
20/21年度の世界のコメの生産国は、中国が29%、インドが24%、インドネシア7%、バングラデシュ7%、ベトナム5%、タイ4%、フィリピン2%、ビルマ3%、パキスタン2%、ブラジル2%、日本は2%、米国は1%であった。



世界のコメ輸出国

	千トン	2020年	2021年	前年比	2022年予想	前年比	21年のシェア
1位	インド	14,560	18,000	+3440	15,500	▲2,500	37.6%
2位	ベトナム	6,167	6,300	+133	6,300	+0	13.1%
3位	タイ	5,706	5,800	+94	6,500	+700	12.1%
4位	パキスタン	3,934	4,200	+266	4,300	+100	8.8%
5位	米国	2,858	2,925	+67	2,850	▲75	6.1%
6位	中国	2,265	2,300	+35	2,300	+0	4.8%
7位	ビルマ	2,300	1,900	▲400	2,100	+200	4.0%
8位	カンボジア	1,350	1,300	▲50	1,400	+100	2.7%
9位	ブラジル	1,240	875	▲365	1,050	+175	1.8%
10位	ウルグアイ	967	780	▲187	850	+70	1.6%
11位	パラグアイ	803	580	▲223	700	+120	1.2%
12位	ガイアナ	520	530	+10	530	+0	1.1%
13位	EU	506	500	▲6	550	+50	1.0%
14位	アルゼンチン	335	350	+15	340	▲10	0.7%
15位	トルコ	234	200	▲34	230	+30	0.4%
16位	ロシア	126	140	+14	140	+0	0.3%
17位	豪州	42	130	+88	260	+130	0.3%
18位	南ア	120	125	+5	115	▲10	0.3%
19位	その他	118	110	▲8	99	▲11	0.2%
20位	スリナム	100	105	+5	110	+5	0.2%
21位	ラオス	94	100	+6	100	+0	0.2%
22位	カザフスタン	99	90	▲9	90	+0	0.2%
23位	台湾	224	90	▲134	90	+0	0.2%
24位	日本	40	80	+40	70	▲10	0.2%
25位	ペルー	75	80	+5	80	+0	0.2%
26位	韓国	55	55	+0	55	+0	0.1%
27位	コロンビア	40	50	+10	50	+0	0.1%
28位	セネガル	20	50	+30	50	+0	0.1%
29位	ギニア	100	30	▲70	50	+20	0.1%
30位	マレーシア	30	30	+0	30	+0	0.1%
31位	タンザニア	30	30	+0	30	+0	0.1%
32位	コートジボアール	50	20	▲30	20	+0	0.0%
33位	エクアドル	44	20	▲24	20	+0	0.0%
34位	エジプト	20	20	+0	20	+0	0.0%
35位	コスタリカ	17	10	▲7	10	+0	0.0%
36位	ドミニカ共和国	10	10	+0	10	+0	0.0%
37位	メキシコ	18	5	▲13	10	+5	0.0%
	世界合計	45,217	47,920	+2703	47,009	▲911	100.0%

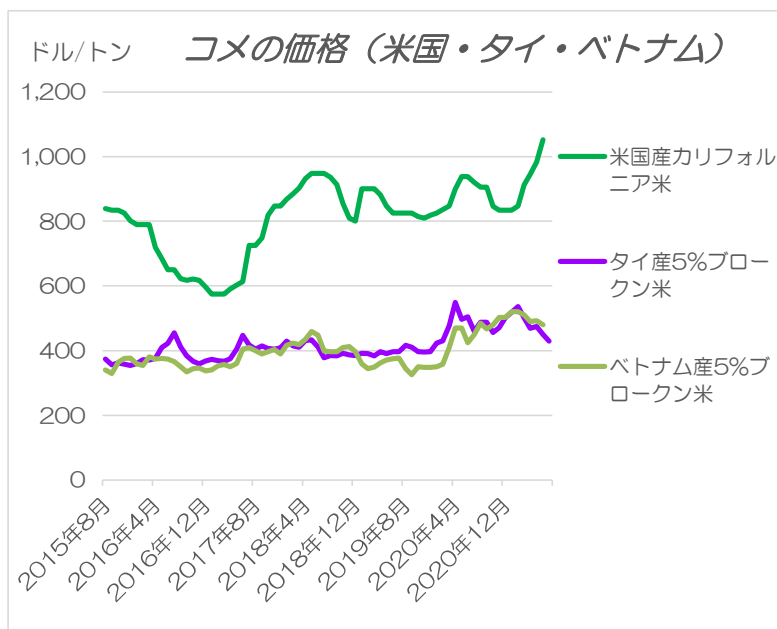
2020年の世界のコメの輸出国は、インドが32%、ベトナム14%、タイ13%、パキスタン9%、米国6%、ビルマ5%、中国5%、カンボジア3%、ブラジル2%、ウルグアイ2%であった。



TOPICS カリフォルニア米価格が上昇、タイ米、ベトナム米は下落

USDAのRice Outlook 7月号によれば、6月のカリフォルニア米のFOB輸出価格がトン当たり1052ドルと初めて千ドルを超えた。

一方、タイ産やベトナム産の5%ブロークン米の価格は値下がりしている。



コメの価格表 by USDA Rice Outlook 21年7月号

ドル/トン	米国産カリフォルニア米	タイ産5%ブロークン米	ベトナム産5%ブロークン米
2015年8月	839	374	340
2015年9月	835	356	329
2015年10月	835	362	364
2015年11月	825	358	376
2015年12月	802	354	377
2016年1月	790	360	359
2016年2月	790	372	354
2016年3月	790	371	381
2016年4月	719	376	374
2016年5月	685	410	376
2016年6月	650	422	374
2016年7月	650	455	366
2016年8月	622	412	350
2016年9月	618	384	334
2016年10月	621	367	345
2016年11月	618	359	346
2016年12月	597	368	337
2017年1月	575	373	340
2017年2月	575	369	353
2017年3月	575	367	357
2017年4月	591	375	350
2017年5月	603	405	360
2017年6月	613	447	405
2017年7月	725	418	409
2017年8月	725	405	400
2017年9月	748	414	389
2017年10月	818	407	396
2017年11月	848	405	403
2017年12月	848	408	390
2018年1月	868	429	417
2018年2月	885	414	423
2018年3月	903	411	419
2018年4月	932	432	435
2018年5月	948	433	459
2018年6月	948	412	448
2018年7月	948	378	399
2018年8月	936	385	396
2018年9月	913	383	396
2018年10月	855	392	409
2018年11月	810	387	413
2018年12月	800	385	396
2019年1月	900	392	359
2019年2月	900	391	344
2019年3月	900	383	349
2019年4月	882	396	362
2019年5月	848	391	371
2019年6月	825	396	375
2019年7月	825	396	377
2019年8月	825	416	344
2019年9月	825	411	325
2019年10月	814	396	350
2019年11月	810	395	348
2019年12月	818	396	348
2020年1月	825	424	351
2020年2月	836	430	358
2020年3月	848	477	410
2020年4月	899	549	470
2020年5月	938	497	470
2020年6月	938	505	425
2020年7月	921	460	449
2020年8月	905	488	485
2020年9月	905	488	467
2020年10月	846	457	480
2020年11月	835	471	502
2020年12月	835	503	502
2021年1月	835	519	520
2021年2月	848	536	520
2021年3月	912	501	511
2021年4月	945	469	489
2021年5月	983	475	493
2021年6月	1,052	451	480
2021年7月		429	

TOPICs コメに関する世界のニュース

タイは世界最大のコメ輸出国としての地位を取り戻すために努力中 6月19日 by JETRO

タイは、干ばつによる生産量の減少、パーツ高による23年ぶりの安値、送料の高騰など、コメの輸出に深刻な影響を与える3つの問題に悩まされている。かつて世界最大の輸出国だったタイからのコメの輸出が今年さらに減少するという見通しが強まる中、政府は輸出サーチャージの引き下げとコメの品種改良により、その地位を取り戻すための取り組みを強化している。

タイ政府は4月の閣議で、欧州連合と英国へのコメ輸出のために輸出業者から徴収する追加料金を1トンあたり2,500バーツ（80.51ドル）から1,200～1,500バーツに引き下げる計画を確認した。米国農務省によると、タイは、2020年にコメの輸出が前年比▲25%減の570万トンになった後、タイ政府はコメの輸出を下支えすることを決定した。輸出量は、アジア通貨危機でタイ社会が混乱した1997年以来最低だった。そのため、タイは2020年に、616万トンを輸出したベトナムを抜いて3番目に大きなコメ輸出国になった。

価格競争力の低下は、タイのコメ輸出国としての地位が低下した理由の1つである。2月のタイ米の輸出価格は1トンあたり542ドルで、インド米とベトナム米のそれぞれ393ドルと520ドルより高かった。タイのコメ生産は、2019年と2020年に干ばつがコメ産地を襲ったために縮小した。パーツの高騰とコンテナ船の運賃の高騰は、コメの輸出にさらなる打撃を与えた。

新型コロナウイルスのパンデミックの中で、パーツは「安全な通貨」として高い価値を維持しており、タイ米の価格競争力を弱めている。さらに、世界的なコンテナ船の不足により、輸出の輸送コストが押し上げられている。タイからのコメ輸出は厳しい状況が続くと予想される。タイ米輸出業者協会（TREA）の名譽会長である Chookiat Ophaswongseは地元の新聞に、2021年の輸出は前年から450万トンから500万トンに減少すると予測されていると語った。

タイはかつて世界最大のコメ輸出国だったが、2011年に当時のインラックシナワトラ首相がローンと引き換えに農家のコメを住宅ローンとして利用するプログラムを導入したため、インドとベトナムに遅れをとったとされている。事実上、市場価格よりも高い価格でコメを購入するプログラムは、2014年にクーデターでインラック政権が頂点に達するまで続いた。

農民が政府の寛大な保護政策にふけたため、タイ米の品質は低下した。近隣諸国が高品質のコメを生産し始めると、タイは品種改良競争に遅れをとり、輸出競争力を失い、2012年には世界最大のコメ輸出国としての地位を失った。

タイ政府はカムバックの取り組みを加速させています。高品質の品種の開発を促進するために、農業協同組合省とTREAは、輸出用の新しい米の品種に関するコンテストを計画しています。商工省は、失敗した政策の費用を回収することにより、タイがトップの輸出国としての地位を取り戻すための道を開くために、2021年にコメの輸出を前年比5%増の600万トンにするという目標を設定しました。しかし、ライバル国との競争はさらに厳しくなることが予想される。

TOPICS インド、今年も米の輸出量が過去最高に 6月30日 by Financial Express

アセアン地域での供給問題や新型コロナウイルスパンデミックの中で、食料供給を確保するために穀物を購入する国が増え、昨年のノンバスマティ米の需要は過去最高の1,300万トン（47億9,600万ドル相当）に増加した。前年と比較して、インドのバスマティ米を含むコメの対中輸出量は、前年の747トンに対し、2020-21年には331万トンに急増した。20/21年度に前年の950万トンを+86%上回る1,771万トンの記録的なコメを輸出したインドは、運賃の高騰にもかかわらず、21/22年も好調な輸出シーズンを迎えることになる。

輸出業者は、海上運賃の値上がりのため、アフリカのバイヤーからの購入の減速を懸念しているが、価格面ではインドは他国に比べて依然として競争力がある。コメ輸出協会（REA）のB・V・クリシュナ・ラオ会長は、今シーズンの21/22年年度の輸出はすでに始まっていると述べている。「運賃が高いため、短距離ルートや鉄鋼、豆類などの商品が好まれている。貨物輸送コストは、過去1年間で2倍以上に上昇している。インドのノンバスマティ米の最大の買い手はアフリカ諸国である。市場としてのアフリカは、20/21年度のインド米輸出額の47.9億ドルの54%を占めている。「シェアを奪われていたベトナムやパキスタンの米価が軟化しているという。しかし、インドは現在も世界で最も安いサプライヤーであることに変わりはない。ベトナムとパキスタンの米価格は1トンあたり420~430ドルだが、インドは依然として1トンあたり360~400ドルで提供しているため、買い手はインドに向かい続けるだろう。中国もまた主要な買い手であることがわかった、と」とADB銀行のRao氏は語った。中国がインドから購入した米は、主にノンバスマティタイプのもので、初めて1億ドルを超えた。前年と比較すると、インドの中国へのバスマティを含む米の総輸出量は、前年の747トンに対し、20/21年度には331,989トンに達した。金額ベースでは、米の輸出額は0.45億ドルに対し、104.07億ドルとなった。

今後の見通し

米農務省（USDA）によれば、世界のコメの需給は需要の増加により、20/21年度と共に21/22年度も▲970万トンの供給不足が予想されている。それでも期末在庫は1億6698万トンもあるため、コメが不足するという状況にはない。21/22年度の生産量は+110万トン増加するが、需要の増加は+613万トンだという。米国のカリフォルニア米の価格は6月にトン当たり千ドルを超えている。

国内の新型コロナウイルスパンデミックによる緊急事態宣言が8月20日まで継続されているため、外食のコメ需要が落ち込んでいると思われる。新潟コシヒカリの価格は13000円から13500円の間で横ばいとなっている。しかし世界的なコメ需要の増加が日本のコメ価格も下支えするのではないかとと思われる。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス：kondo@commi.cc